

## シドニーマラソン2013の概要を発表

今年は9月22日に開催

シドニーマラソン日本事務局はこのほど、今年9月22日に開催されるシドニーマラソンの旅行会社向け説明会を実施した。今年で13回目の開催となる同大会は、南半球最大級の都市型マラソン。昨年の参加者総数は3万4297人で、日本からの参加は414人。その他、現地在住者や短期語学研修、ワーキングホリデービザでの滞在中の参加者が407人おり、日本人の参加総数は821人だった。昨年の大会は日本人ランナーが健闘し、ハーフマラソン、女子フルマラソンで優勝するなど、大いに盛り上がった。日本事務局の寺本浩ジェネラルマネージャーによると、今年の参加者目標人数は600人。多くの参加者が集まるよう、旅行業関係者に募集の協力を呼びかけている。

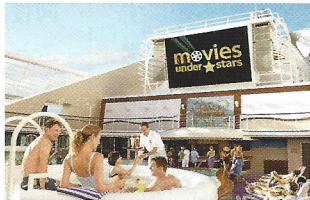


より多くの参加を呼びかける日本事務局の寺本マネージャー

## サン・プリンセス船上でNHKや日本映画

プールサイドの巨大スクリーンで上映も

4月27日からスタートしたサン・プリンセスの日本発着クルーズで、日本語のテレビ放送と映画を上映している。客室のテレビでは、通常のクルーズで放送されている国際番組に加えて、NHKの番組が衛星放送で見られる。トップデッキのプールサイドにある巨大スクリーン「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」では、日本語で映画が楽しめる。世界各国の最新映画を日本語吹き替えで上映するほか、往年の日本映画も上映予定。これらの映画は客室のテレビでも見ることができる。同社のジャン・スワーツ・エグゼクティブ・ヴァイスプレジデントは、「日本のお客様のために特別にご用意したので、ぜひお楽しみいただきたい」と語った。



巨大スクリーンで上映するムービーズ・アンダー・ザ・スターズ

## セーバー、ドイツのHRSと戦略的販売提携

ゲットゼア導入企業とホテルに多くのメリットを提供

セーバートラベルネットワーク（セーバー）は、プロダクトのひとつであるゲットゼアで、世界的な企業向けのホテル予約サイトのHRS（本社：ドイツ）と販売契約を締結した。この契約締結により、ゲットゼア導入企業は、HRSに参加する25万軒以上のホテルを4月末から予約できるようになる。HRSは32カ国語で展開し「出張旅行者向け特別レート」「到着日の午後6時までキャンセル無料」など、ビジネストラベルに便利で柔軟な予約利用条件を提供している。HRSのトビアス・ラッジCEOは、「ゲットゼアとの提携は、当社のマルチチャンネル戦略を補完するもので、すべての導入企業は世界中の多くのホテルからメリットを得ることができると語った。



セーバー上でのゲットゼア。HRSと提携でサービス拡張

## ハーツレンタカー、アジアでのサービスを拡充

中国などで、空港送迎がアポロで予約可能に

ハーツ・アジア・パシフィックは、ガリレオジャパンと共同で、空港送迎サービスの予約をアポロシステムで可能にした。また、空港送迎サービス専用予約アプリケーション「Galileo Drive Me」を開発。この予約アプリケーションはガリレオデスクトップ上で稼働するもので、利用している旅行会社は中国4都市（上海、北京、天津、深圳）、シンガポールおよびフィリピン2都市（マニラ、セブ）での空港送迎サービスの即時予約ができる。アポロシステムで手配することによりエア、ホテル、そしてハーツ空港送迎の予約を1つのPNRで管理することができるのがメリット。代金はハーツのクーポン払い、クレジットカードによる現地払いの選択が可能となっている。



アポロでハーツレンタカーの空港送迎を予約できる

## マウナ ラニ ベイ ホテル アンド バングローズ

ジャパンオフィスを新設

ハワイ島北西部のコハラコーストに位置する「マウナ ラニ ベイ ホテル アンド バングローズ (The Mauna Lani Bay Hotel and Bungalows)」が、このほどジャパンオフィスを開設した。同ホテルは、東急電鉄子会社のマウナ ラニ リゾートが保有・運営しており、数々の受賞歴のあるスパとゴルフコースを満喫できるビーチフロントの高級リゾート。これを機に日本マーケットに力を入れていく考えだ。新設されたジャパンオフィスは、西田英之氏が所長を務める。連絡先は以下のとおり。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-2新南平台東急ビル7階 Tel: 03-5428-5767 Fax: 03-3464-1023  
Eメール: JapanOffice@maunalani.com



ハワイ島、コハラコーストに位置する高級リゾートホテル

## シカゴ観光局がUAとメディア向けセミナー

「ぶらっとシカゴ」をコピーに町歩きの魅力訴え

シカゴ観光局はユナイテッド航空（UA）と共同で、メディア向けセミナーを開催した。マージョリー・デューイ日本事務所代表は「シカゴはビジネスのイメージが強く観光のイメージから遠いが、さまざまなメディアで人気観光都市の上位にランクインされるなど見どころも多い」と訴えた。オヘア国際空港、ミッドウェイ国際空港の2つの国際空港を擁し、他の主要都市にも2時間ほどで到着が可能のためアクセスも良い。また年間4000万人もの旅行者が訪れるため、ホテルも充実している。市内は観光地が散らばっておらず、交通網も発達している。そのため町歩きもしやすい。観光局は「ぶらっとシカゴ」をキャッチコピーに、市内の観光地の巡り方などを提案している。



ビジネスデスティネーションのイメージを払拭したいとデューイ代表